

2025 年度

C 級審判審査 筆記試験問題

C

九州ハンドボール協会審判委員会

1. ゴールの内のりの正しい寸法はどれか。

- (a) 1.92×2.92 m
- (b) 2.00×3.00 m
- (c) 2.05×3.05 m
- (d) 2.08×3.08 m

2. タイムアウトを必ず取らなければならない状況はどれか。

- (a) 7 m スロー
- (b) 2 分間退場
- (c) 外的な要因
- (d) 失格

3. 白チームのチーム役員 A は、チームタイムアウトを請求するためにジャッジズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹く前に、白チームの 11 番はオフenseivフールの違反をした。レフェリーがオフenseivフールの笛を吹く直前に、タイムキーパーはチームタイムアウトの笛を吹いた。

- (a) タイムキーパーからのチームタイムアウトの合図の前に、オフenseivフールの違反が起きていることから、レフェリーは、チームタイムアウトを認めることはできない
- (b) 白チームのチームタイムアウト
- (c) 白チームにグリーンカードを返す
- (d) 相手チームのフリースローで競技を再開
- (e) 白チームのフリースローで競技を再開

4. ボールの色彩は何種類認められるか。

- (a) 1 種類
- (b) 2 種類
- (c) 3 種類
- (d) 制限なし

5. レフェリーが白チームに、黒チームのフリースローラインからのフリースローを与えた。その直後にタイムキーパーが笛を吹き、時計を止めた。レフェリーが競技中断の理由を尋ねると、タイムキーパーは「白チームの 9 番が不正交代をした」と答えた。

- (a) 黒チームのフリースローラインに沿って、白チームのフリースロー
- (b) 黒チームのフリースローラインに沿って、黒チームのフリースロー
- (c) 白チームの交代地域前から、黒チームのフリースロー
- (d) 白チームの 9 番を、2 分間退場とする

6. 競技の中断中に黒チームの 14 番は、正しく交代した。しかし、タイムキーパーは笛を吹き、黒チームの 14 番は記録用紙に記載されていないと説明した。黒チームの 14 番は、黒チームの 18 番として記録用紙に記載されていることが判明した。

- (a) 黒チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する
- (b) ジャッジズテーブルの前から、相手チームにフリースローを与える
- (c) 背番号を記録用紙に記載されている通りとし、黒チームの 14 番は、18 番のユニホームに着替える
- (d) 競技の中断の理由に相応しいスローで競技を再開し、記録用紙にその旨を特記する

7. 白チームのゴールキーパー 1 番がシュートを止め、ボールは白チームの交代ベンチ近くのサイドラインに向かって転がっていった。ベンチに座っていた白チームの 5 番がコート内に片足を入れてボールを止めたので、ボールがサイドラインを越える前に白チームの 4 番はボールを所持することができた。

- (a) 相手チームのフリースロー
- (b) 相手チームのスローイン
- (c) 白チームの 5 番を、2 分間退場とする
- (d) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 5 番を、失格とする
- (e) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

8. 黒チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールエリアを離れてプレーイングエリアにいた。味方のプレーヤーからのパスをキャッチするため、黒チームの 1 番はプレーイングエリアでジャンプした。その後、空中でボールをキャッチし、ゴールエリア内に両足で着地した。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 黒チームのゴールキーパー スロー
- (c) 相手チームのフリースロー
- (d) 相手チームの 7 m スロー
- (e) タイムアウト

9. 速攻を仕掛ける白チームの 6 番は、ジャンプシュートを打ち黒チームのゴールエリア内に倒れこんだ。シュートは黒チームのゴールキーパー 12 番に止められたが、白チームの 11 番はリバウンドを拾い、白チーム 6 番が彼自身とゴールキーパーとの間にまだ倒れている状態でシュートを打ち、得点を決めた。

- (a) 白チームの得点
- (b) 黒チームのゴールキーパー スロー
- (c) 黒チームのフリースロー

10. 黒チームの 3 番は、黒チームの 11 番にパスが成功するかどうか分からないリスクを伴うパスを出した。黒チーム 11 番は、ボールが空中にある時点でキャッチできないと判断し、コート中央にいた黒チームの 9 番に向けてボールをこぶして叩いた。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 黒チームの 9 番の位置から、相手チームのフリースロー
- (c) 黒チームの 11 番の位置から、相手チームのフリースロー
- (d) 黒チームの 11 番を、2 分間退場

11. 白チーム 6 番はすでに 2 回、2 分間退場となっていた。そして今、白チーム 6 番は不正交代をした。レフェリーが不正交代を告げた後、もしも白チーム 6 番が極めてスポーツマンシップに反する行為をしたならば、どのような判定をするか。
- (a) 白チーム 6 番を、2 分間退場とする
 - (b) 白チーム 6 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）
 - (c) 白チーム 6 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）
 - (d) つまり白チームは、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らすことになる
 - (e) つまり白チームは、コート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らすことになる
 - (f) つまり白チームは、コート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らすことになる
12. 「極めてスポーツマンシップに反する行為」すなわち、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードが示される）に相当する行為はどれか。
- (a) コートプレーヤーが、脚の膝より下の部位で繰り返し防御する
 - (b) チーム役員が明らかな得点チャンスを妨害する
 - (c) 他者に唾を吐きかける
 - (d) 時間を浪費するために、繰り返し競技を遅延させる
13. 速攻中、黒チーム 9 番は、白チーム 4 番にユニホームを引っ張られた（すでに白チーム 4 番は、警告となっていた）。それにもかかわらず黒チーム 9 番は、味方の 8 番にボールをパスし、黒チーム 8 番は得点を決めた。その後レフェリーは、白チーム 4 番に罰則を適用しようとしたが、白チーム 4 番はすでに交代しベンチに座っていた。
- (a) 白チーム 4 番を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす
 - (b) 白チーム 4 番を 2 分間退場とするが、白チームはコート上のプレーヤーを減らさなくてよい
 - (c) もはや罰則は適用できない
 - (d) 白チーム 4 番を失格（レッドカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす
14. 白チームの 5 番が打ったシュートは、黒チームのゴールポストに当たって跳ね返り、プレーイングエリアに立っている黒チームの 3 番の足に当たり、黒チームのゴールに入った。
- (a) 白チームのフリースロー
 - (b) 白チームの得点
 - (c) 白チームの 7 m スロー
 - (d) 黒チームのゴールキーパースロー
15. （スローオフエリアを採用しないコート）競技の終了直前の得点は 15 対 15 であった。黒チームが得点して 15 対 16 となった。白チームは直ちにスローオフを行いたかった。ボールを持ったプレーヤーは、コートの中央で片足を相手陣側に、他方の足を自陣側に置き、センターラインを踏まずに立っていた。
- (a) 誤った位置を正した後に、スローオフの笛を吹く
 - (b) 位置は正しいので、スローオフの笛を吹く
 - (c) タイムアウトを取り、誤った位置を正した後に、スローオフの笛を吹く

16. 白チームの 6 番は片足をコート内に、もう片方の足をサイドラインの外側 1 m の所に置き立っていた。この状態で白チームの 6 番は、直接シュートを決めた。
- (a) 再開の笛の合図の後に、白チームのスローインを再度実施
 - (b) 相手チームのフリースロー
 - (c) 白チームの得点
 - (d) 相手チームのゴールキーパーズスロー
17. 白チームのゴールキーパー 1 番がゴールキーパーズスローを行う際に、ゴールエリアラインに片足が触れた。
- (a) 笛の合図の後に、ゴールキーパーズスローを再度実施
 - (b) 相手チームのフリースロー
 - (c) そのまま競技を続行
18. 白チームの 4 番の違反に対してフリースローが判定された。ボールを持っていた白チームの 4 番は、ゴールエリアを横切り、それからボールを床に置いた。
- (a) 白チームの 4 番を、2 分間退場
 - (b) 白チームの 4 番を、警告
 - (c) 相手チームの 7 m スロー
 - (d) 相手チームのフリースロー
19. 白チームの 7 人攻撃中（ゴールキーパー不在の状況）に、黒チーム 8 番がパスをインターセプトした。黒チーム 8 番はドリブルし、無人のゴールに向けシュートを打つための体勢を取る前に白チーム 3 番に妨害され、動きを止められた。その間に白チームのゴールキーパー 12 番は、白チーム 7 番と正しく交代し、ゴールエリアの中に戻った。
- (a) 黒チームのフリースロー
 - (b) 黒チームの 7 m スロー
 - (c) タイムアウト
 - (d) 白チームの 3 番を、2 分間退場
20. （スローオフエリアを採用しないコート）競技終了 4 秒前、30 対 30 から白チームが得点を決めて 31 対 30 とリードした。素早くスローオフを行おうとした黒チームの 10 番は、片足をセンターラインの手前（自陣側）に、他方の足をセンターラインの向こう側（相手陣内）に置いた。そしてレフェリーの笛の合図なしに、黒チームの 10 番は白チームのゴールの中にボールを投げ入れた。そこで、自動終了合図があった。
- (a) 黒チームの得点
 - (b) 黒チームはスローオフを再度実施
 - (c) スローの結果を待つ
 - (d) タイムアウト
 - (e) 黒チームの得点を認めず、競技の終了

21. プレーヤーを退場としたとき、この退場は誰に示さなければならないか。

- (a) 退場としたプレーヤー、タイムキーパー、スコアキーパー
- (b) チーム責任者、タイムキーパー
- (c) タイムキーパー、スコアキーパー
- (d) 退場としたプレーヤー、チーム責任者、スコアキーパー

22. 白チームの4番がケガをしたため、レフェリーはタイムアウトを取り、白チームに対して治療のための入場許可のジェスチャーを示した。白チームのチーム役員AとBだけでなく黒チームのチーム役員Aもコートに入ってきた。黒チームのチーム役員Aはすでに警告を受けていた。

- (a) 罰則は不要
- (b) 競技再開時に、黒チームはコート上のプレーヤーを減らさなくてよい
- (c) 黒チームのチーム役員Aを、2分間退場とする
- (d) 黒チームのチーム役員Aを、失格とする（レッドカードを示す）
- (e) 競技再開時に、黒チームはコート上のプレーヤーを2分間1名減らす
- (f) コート上で治療を受けた後、白チームの4番はコートから出なければならず、白チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻るができる

23. 計時が疑わしいとき、誰が正確な時間を決定するか。

- (a) タイムキーパーとスコアキーパー
- (b) 両レフェリーが協議して決定
- (c) タイムキーパーが決定
- (d) 両レフェリーとタイムキーパーが協議して決定

24. 白チームのチーム責任者は、両レフェリーとTOに気づかれずにスコアキーパーを侮辱した。次の競技の中断時に、スコアキーパーはこの件をレフェリーに伝えた。

- (a) 白チームのチーム責任者を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）
- (b) 白チームのチーム責任者を、2分間退場とする
- (c) 報告書を作成
- (d) 白チームのチーム責任者を、警告とする
- (e) 罰則は不要

25. 白チームのチーム役員Aはベンチにいるとき、すでに警告となっていた。その後、白チームのチーム役員Aは交代地域を離れ観客席に移動し、そこからレフェリーの判定に抗議し続けた。

- (a) 何もできない
- (b) 白チームのチーム役員Aを、2分間退場
- (c) 白チームのチーム役員Aを、失格とする（レッドカードを示す）
- (d) 白チームのチーム役員Aを、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）
- (e) 白チームはコート上のプレーヤーを、2分間1名減らす